

研修を受けた先輩ヘルパーの声

・ヘルパー自身に会話の引き出しを多く持つことが大切だと思っています。ずっと同じことを繰り返すご利用者様に対しては、そこから別の話に発展したり、思い出話を引き出したりできるように、会話に注意してケアにあたっています。

・あまりお話しされなかったご利用者様がだんだんとヘルパーに慣れて下さり、塗り絵やドリルを一緒にやるようになって「楽しかった！」と言われとても嬉しかったです。

その言葉が自分自身のやりがいにつながっています。

・「バリデーション」の研修を受け、自分自身の声掛けがヘルパー主導になっていてご利用者様の気持ちに添えていないことに気が付きました。

・声掛けの方法や声のトーンにも気を付けるようにして頑張っています。会話が成立していなくても、気持ちを受け止める事ができるようになった気がします。

・ご利用者様の心に寄り添ったケアが出来る様に頑張ります。

・ヘルパーが訪問する時間だけでも不安が解消でき楽しく過ごしていただけるようにしていきたいです。

・その方の過去や生活歴を理解し、「昔取った杵柄」を取り戻せるような関わりをしていきたいです。